

製品安全データシート
Safety Data Sheet

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称・製品名:多孔質ガラス発泡材「ポアラスα」(Pタイプ)

会社名:株式会社鳥取再資源化研究所

住所:〒689-2202 鳥取県東伯郡北栄町東園 583

お問い合わせ:<https://www.t-rrl.jp/contact/>

電話番号:0858-49-6230 FAX番号:0858-49-6288 緊急連絡電話番号:0858-49-6230

推奨用途及び使用上の制限:土壌改良材、人口培土、雑草対策、悪臭分解材

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性:危険性なし

健康に対する有害性:有害性なし

環境に対する有害性:有害性なし

3. 組成及び成分情報

化学名:ソーダ石灰ガラス

化学式または構造式:特定の化学式及び構造式はない(非結晶質)

単一成分・混合物の区別:単一成分

組成および成分情報:

成分	化学式	濃度範囲 (wt%)	官報公示整理 (MITI)番号 ¹⁾	CAS 番号 ¹⁾
二酸化ケイ素	SiO ₂	66.2-67.4	1-548	7631-86-9
酸化カルシウム	CaO	16.4-18.0	1-189	1305-78-8
酸化ナトリウム	Na ₂ O	9.8-11.6	1-495	1313-59-3
酸化アルミニウム	Al ₂ O ₃	2.1-2.4	1-23	1344-28-1
酸化カリウム	K ₂ O	1.3-1.5	9-2423	12136-45-7
酸化鉄(Ⅲ)	Fe ₂ O ₃	0.67-0.84	1-357	1309-37-1
酸化マグネシウム	MgO	0.26-0.40	1-465	1309-48-4

上記表中成分を以って全体量の約99%以上となる。その他微量元素として、Ti、Cr、Mn、Ni、S等を含む。

4. 応急措置

吸入した場合:新鮮な空気の場所に移動し、鼻をかみ、水でうがいをする
多量の場合は医師の診断を受ける

皮膚に付着した場合:付着部又は接触部を水で洗い流す

目に入った場合:直ちに多量の水で洗い流す。異物感がある場合は医師の診断を受ける

飲み込んだ場合:多量の水又は食塩水を飲ませ吐かせる。多量の場合は医師の診断を受ける

5. 火災時の措置

適切な消火剤:消火剤、水

使ってはならない消火剤:特になし(消火剤とは化学反応しない)

特有な消火法:特になし

備考:製品は燃焼しないが高温で軟化する
軟化時に放水すると水蒸気が発生するが、多量の放水では問題はない

製品安全データシート
Safety Data Sheet

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:作業の際には適切な保護具(手袋・防塵マスク・ゴーグル等)の使用を推奨する。

環境に対する注意事項:特になし

封じ込め及び浄化の方法及び機材:特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項:破袋防止のため、製品を投げ積みしないこと
荷崩れ防止のため積み重ねは丁寧に行うこと
積み重ねの高さは120cm以下を推奨する

保管上の注意事項:屋内での保管が望ましい

8. 暴露防止及び保護措置

生物学的指標等の許容濃度:

- 日本産業衛生学会勧告値(2018)²⁾:吸入性粉塵 2mg/m³、総粉塵 8mg/m³
(第3種粉塵:石灰石、その他の無機及び有機粉塵)
- ACGIH(TLVs)-TWA(2018)³⁾:上記と同じ

設備対策:屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を付ける
保護具:防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、作業服、作業帽、作業靴

9. 物理的及び化学的性質

外観等:ほぼ無色、製品で異なるが薄い茶

臭い:絶乾状態においては無臭、濡れた場合も無臭

真密度:約2.5g/cm³

嵩密度:0.5~1.1g/cm³(粒度により変動)

粒形状:部分的に角のある不定形体

pH:水に浸漬するとpH10.3(最大値)、水の交換を繰り返すと低下し中性(pH7)となる

爆発性:なし

引火点:適用しない

可燃性:適用しない

発火性:適用しない

溶解度:なし

軟化温度:720~730°C(分解しない)

揮発性:なし

粉塵爆発性:なし

酸化性:なし

10. 安定性及び反応性

自己反応性:なし

化学安定性:化学変化なし(ガラス質)

危険有害反応可能性:なし

避けるべき条件:特になし

混触危険物質:なし

危険有害な分解生成物:なし

製品安全データシート
Safety Data Sheet

11. 有害性情報

急性毒性:なし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性:なし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:なし

皮膚感作性:なし

生殖細胞変異原性:なし

発がん性:なし

生殖毒性:なし

特定標的臓器毒性、単回ばく露:なし

特定標的臓器毒性、反復ばく露:なし

吸引性呼吸器有害性:飛散して多量吸入した場合、肺に沈着する可能性があるが、即発性の症状は発生しない

12. 環境影響情報

PRTR対象物質の使用及び含有はない。

溶出試験の結果、環境省が定める土壤環境基準値⁴⁾以下であり、土壤に還元できる。

13. 廃棄上の注意

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従い、指定梱包資材に入れまたは包み、一般不燃産業廃棄物として扱う。

14. 輸送上の注意

破袋に注意

15. 適用法令

労働安全衛生法(じん肺法・粉じん障害防止規則)に該当しないが、本法に準じた取り扱いが望ましい

輸出貿易管理令 HS コード 3207.40.000(ガラスフリットその他のガラスで粉状、粒状又はフレーク状のもの)

16. その他の情報

引用文献:

- 1) 化審法データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
- 2) 許容濃度等の勧告(2018 年度)(産業衛生学雑誌 60)
- 3) 2018 Guide to Occupational Exposure Values (ACGIH)
- 4) 土壤環境基準(環境庁告示第 46 号)

ここに記載された情報は、弊社データに従ったものです。必要かつ安全な取扱いを決定する場合には、使用者がその責任においてこの情報の利用をお決め下さい。

なお、ここに記載された情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成されたものですが、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改訂がありうることをご承知下さい。